

令和6年度第1回箕面市子ども・子育て会議 議事概要

◆日時：令和6年11月25日（月）17:00～17:35

◆場所：箕面市役所本館2階 特別会議室

◆出席者：

【委員】

馬場会長、澤田委員、北本委員、岸上委員、太田委員、中森委員、中村委員、森委員、秋山委員、福田委員

（欠席）山中委員、宗形委員

【事務局】

藪本局長、今中担当部長、柴田副部長、高取学校教育監、村田担当副部長、山田担当副部長、山根室長、渡邊室長、谷邊参事、森下

◆傍聴人：2名

◆議事内容

1. 開会

2. 案件

（1）箕面市子ども・子育て会議について

- ①箕面市子ども・子育て会議の概要について
- ②第四次箕面市子どもプランの概要について

（事務局）

- （資料1、資料2に基づいて、箕面市子ども・子育て会議及び第四次箕面市子どもプランの概要について説明）

（質疑なし）

(2) (仮称) 第五次箕面市子どもプランの策定について

- ① 策定に係る諮問及び策定体制について
- ② 箕面市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果について

(事務局から会長に諮問書を手交)

(事務局)

- (資料 4-1、資料 4-2 に基づいて、(仮称) 第五次箕面市子どもプランの策定体制について説明)

(質疑なし)

(事務局)

- (資料 5 に基づいて、箕面市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果について説明)

(澤田委員)

- 資料 5 の 3 ページ「平日の定期的な保育教育サービスの利用状況と利用希望」の結果について、利用状況は、認可保育所を利用している人が一番多いということだが、利用希望は、認定こども園の希望が一番多い結果になっている。
- これは認可保育所よりも認定こども園に入りたいと、今利用している人が回答しているのか。
- この結果をどう受け取ったらよいのか分からなかったなので、もう少し説明してほしい。

(事務局：山根室長)

- このアンケートについては、無作為に抽出した 2,000 人をアンケート調査の対象としており、認定こども園や認可保育所を実際に利用している人がアンケートに回答しているのかは不明。
- 利用希望で認定こども園を利用したいと回答している人が、現在認可保育所を利用している人かどうかは分からない。

(中村委員)

- 今のページのところだが、公立と私立では分けずに認定こども園と認可保育所の分け方だけということか。

(事務局：山根室長)

- そのとおり。

(中村委員)

- 市立認定こども園の親の代表として来ているが、幼稚園と保育所の再編について、萱野は幼稚園と保育所が統合され、西部地域と東部地域もこれからどうなっていくかという議論があると思う。
- この周辺の保護者の人が、自分の子どもがこれから統合した後の認定こども園に行くことを前提として回答したことで、増えたのではないかと個人的には思う。
- この結果について分析をしたり、保護者の意見を聞いたりしているのか。

(事務局：村田担当副部長)

- 細かい分析までは難しいというのが正直なところ。
- 全体版の報告書を見ていただくと、公立と私立を分けているわけではないので、あまり細かい分析にはなっていないが、41 ページに「現在利用している施設やサービス」と「今後利用したい施設やサービス」のクロス集計結果が載っている。
- これを見ると、認定こども園を利用している人と小規模保育施設を利用している人で、認定こども園を利用したいと回答をしている割合が一番多く、白抜き文字で表されている。
- 小規模保育施設を利用している人は0歳から2歳の子どものため、3歳からは認定こども園を利用したいという思いで回答している傾向が少し見られる。

3. その他

(今後のスケジュールを事務局から説明)

4. 閉会